

第4分科会 第2会場

「通い(つどい)の場・ 居場所づくりの実践」

ピュアリティまきび 2F千鳥(211)

演題番号 4-2-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	吉祥院健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
トモリ 渡守 ノブジ 伸次	友の会役員	第4分科会

発表テーマ
男の「いいかげんな」料理教室 10年目を迎えて

内容（発言要旨）

男の料理教室は（教室と言えるかどうか？）、友の会のサークルとして仲間づくりと居場所づくり、老後の独居問題を考えて発足。もし、一人暮らしになっても困らないように、認知症の予防になるのではとはじめました。サークルの仲間は今現在8名でコロナ禍を経て、減ったときもありましたが、少しずつ増えている状況です。

難しいことは考えずに気楽に続けられるサークルにと考え、参加者は主に団塊の世代。全員共働きで定年まで勤めてきた仲間達でわきあいあいと楽しく取り組んでいます。

10年を振り返り、継続できたポイントや活動の工夫を報告します。

所属している組織の概要	
京都市南区 吉祥院病院の職員・患者を中心として、1987結成された。会員世帯は1986世帯（5月現在）	
TEL 075-691-0545 (友の会)	メール sosiki@kissyouin-hp.org

演題番号 4-2-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	春日健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オザキ 尾崎 タケシ 武志	事務局長	第4分科会

発表テーマ
男の料理教室の取り組み紹介

内容（発言要旨）

2015年から月1回開催してきた男の料理教室は直近では72回となりました。50回を越えたことで「いつでも元気」に取材を依頼したのは2019年でしたが、コロナ禍に突入したこともあり、ようやく昨年10月に取材を受けることとなりました。その記事が今年の2月号に掲載され、さらに100回をめざして、奮闘している活動を報告いたします。

友の会活動では女性の参加者が多く、男性が集える取り組みを増やすことが課題とされていました。ひとり暮らしの男性や台所経験の少ない男性を中心に「男の料理教室」がスタートして9年目。講師の管理栄養士さんと10人前後の男性参加者が楽しく料理を行っております。以前には、講師である吉田栄養士が急遽来られなくなり、参加者だけで調理をすることとなりました。今まで習った腕の見せ所です。メニューは①サラダそうめん、②豚肉のねぎ塩ソース、③桃とパイナップルのソルベでした。レシピはありますが、細かいニュアンスはみんなで相談しながら見事に調理できました。せっかく料理しても家で食べるのは美味しくないとこのことで、黙食しながら、今回からは、作った料理をみんなで食べることにしました。自分たちだけで作った料理はいつもより一層美味しく感じました。

開催場所でもある春日診療所の事務長さんは、「楽しい居場所となっている「男の料理教室」ですが、100回をめざして、男性職員も参加しながら、友の会と職員の交流の場になっていけたら」と将来の展望を語っていました。

所属している組織の概要	
活動地域は、京都府京都市右京区西院地域。活動地域の人口は約25,000人。所属する共同組織の人数は約500人。	
TEL 075-311-3176	メール kasuga-sin@cj9.so-net.ne.jp

演題番号 4-2-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福井	福井県医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
シミズ 清水 マサミ 雅美	理事	第4分科会

発表テーマ
さまざまな世代の居場所づくりを目指して ～ 組合員ルーム「だん・だん」の取り組み～

内容（発言要旨）

光陽生協クリニック2Fに設置されていた組合員ルームが、コロナ禍のため本部会議室の片隅に移転。さらにそこから現在の場所である、クリニックから徒歩5分の一軒家借家に引っ越しをしたのがちょうど2年前の2022年9月でした。

この2年間、ここを拠点にさまざまな活動を展開してきました。

- ①班活動の継続と新規立ち上げ・・・毎日班活動が開催されており、活動が活発化しています。（高齢で閉めた班も1班あり）
- ②組合員による作品展の開催（1～2ヶ月毎に展示を変更）・・・組合員以外にも組合員ルームに足を運んでくれています。
- ③だん・だんバザーの常時開催（組合員提供の衣類等の不用品を1点50円で販売）・・・これを楽しみに来室する人が多数。
- ④だん・だんカフェの開催・・・組合員の友人や知人も来室。音楽の班の発表の場にもなっています。うたう会も毎回開催。
- ⑤助け合い活動の事務局の役割・・・有償ボランティア活動は一時期に比べ下火になっており、需要を掘り起こしたいです。
- ⑥食料無料支援・・・食品集めや準備の場として活用。
- ⑦子ども食堂（他団体）とコラボ・・・地域の子どもたちが大勢来てくれています。時間内にあそび場も併設し、子どもたちの居場所になりつつあります。

だん・だんでの活動を通して組合員の輪が広がっており、地域の方の大切な居場所になりつつあります。また、医療生協が目指す「この地域で長く住み続けることのできる社会・平和な社会の大切さ」を多くの人に伝える場としての役割を果たしつつあります。

所属している組織の概要	
活動地域は、福井県福井市で人口は254,777人。（2024/5/1現在）所属する共同組織の人数は77,817人。（2024/3/31現在）活動の主体は事業所のある市中心西部より地域。	
TEL 090-2030-0845	メール ippaiattena1958@gmail.com

演題番号 4-2-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	京都東健康友の会 左京ブロック 大原支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コレツネ 是恒 チ ヅ コ 千鶴子	支部世話役（事務局 お便り担当）	第4分科会

発表テーマ
居場所づくり（高齢者も子育て世代も…）

内容（発言要旨）

4年前に発足。まずは、友の会サロンを毎月行った。テーマは世話人の要求から出発しサロンの終わりに「テーマはいかがでしたか?」「サロンで何をしたいですか?」「曜日や時間はいかがですか?」毎回ミニアンケートを実施。そして、その結果を世話役会議で議論する。を繰り返してきた。テーマは「平和トーク」「団子作り」「大原の歴史」「コンサート」「健康教室」など多義に渡。その中で、休日に子連れで参加できる企画を！の声があり、パパママ世代にサポーターを担ってもらい「わくわくサロン」と題して冬は「餅つき」夏は「川遊び」などを行いその中で、若い会員さん拡大にも繋がった。そして、友の会サロンだけでは、広がらない仲間づくりを「包括支援センター」「社会福祉協議会」「NPO法人里づくり協会」「左京支え合いコーディネーター」に働きかけ、5団体で高齢者居場所づくり連絡会を運営し現在2ヶ月に1回のペースで居場所開催が出来ている。

所属している組織の概要	
京都市の北、山間部です。三千院や寂光院で知られる観光地。しかし、みんな観光業を営んでいる訳ではありません。多くは、町に働きに出ていたり、自然を生かし農業などで生計を建てようと、取り組んでいるひとたちがいます。その一方、高齢化率も高い地域です。	
TEL 090-5128-6374	メール ooutiyama895@ezweb.ne.jp

演題番号 4-2-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
広島	広島中央保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コマツ 小松 キョウコ 京子	理事	第4分科会

発表テーマ
「地域の茶の間」から「社会性のある居場所」としてのサロンを

内容（発言要旨）

【はじめに】

当法人初の介護事業となる「看護小規模多機能型居宅介護」「定期巡回随時対応型訪問介護看護」を5月1日に開所し、この施設に地域の方にも広く利用していただく「サロンえにし」を併設致しました。このサロンでの居場所づくりの企画・活動について報告いたします。

【企画・活動】

- ①目標：組合員だけでなく地域の多世代の方が集える場所づくり
- ②活動内容：まちの保健室（月・水・金曜日）看護師が在住し身体・暮らしの相談に対応するサロンえにし（月～土）お茶を飲みながらおしゃべり出来る場
地域のオープンスペース、サロンとしてのサークル活動、若いお母さんにむけての食育など

【まとめ】

単独世帯が増加している現在、「居場所」とは人と集える場所だけではなく、自分らしくいられる、受け入れられている、役にたっていると感じることが重要です。年齢や性別に関係なく、好きな時に集まってレクリエーションや趣味活動を行いながら自分の居場所や役割を見つける「成長・変化」を生み出すことを目指し今後も活動を検討していきます。

所属している組織の概要	
あんしんセンターコープ五日市 地域交流スペース サロンえにし（広島県広島市佐伯区） 佐伯区 人口138,000人 当法人組合員数7,846人（5.7%）	
TEL 082-532-1264	メール s-higashi@hch.coop

演題番号 4-2-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
埼玉	熊谷生協病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
キシモト 岸本 ハルノリ 治憲	まちづくりネットワーク 推進課	第4分科会

発表テーマ
誰もが自由に来られる場 HAPPY くまここの取組み

内容（発言要旨）

熊谷生協病院では地域のボランティアの方々と協力して多世代食堂（名称：多世代ふれあい食堂HAPPY くまここ）を開催している。新型コロナウイルス感染拡大以前は会食形式で開催していたが、現在はお弁当配布に切り替えて行っている。HAPPY くまここでは食事の提供だけでなく、集まった人たちが楽しめる企画（餅つき・花火など）も同時に開催している。これらの食堂の取組みに加えて現在、熊谷市の民間団体で進めていることもまんなかネットワークの取組みについて発表する。

所属している組織の概要	
活動地域は埼玉県全域で組合員は約24万人。担当地域は埼玉県北部の6市町（人口13万人弱）で組合員約4,000人。	
TEL 070-2154-7358	メール h-kishimoto@mcp-saitama.or.jp

演題番号 4-2-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	大阪みなみ医療福祉生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イマイ カヨコ 今井 佳代子	河内長野支部 支部長	第4分科会

発表テーマ
みんなの居場所「だんだん」を作って

内容（発言要旨）

大阪みなみ医療福祉生協の河内長野支部は、診療所が近くになく、組合員同士の交流が難しい。支部の運営をするサポーターメンバーも会議や集いのできる自分たちの居場所を作りたいと考えていた。2023年4月、駅前商店街のNPO法人が運営する「にぎわいプラ座」にブースを借りて「みんなの居場所だんだん」を開設できた。この居場所の目的として①サポーターが安定して集まり会議できる②組合員が集まり交流する③地域の人が気軽に訪れておしゃべりできる④健康に関する情報を発信しながら医療生協を知ってもらう を考えてスタートした。まずは、組合員や地域の人々に、みんなの居場所ができたことを知ってもらう事が一番の課題だった。にぎわいプラ座が行うイベントに参加したり、組合員に配る機関紙に折り込むニュースとは別ににぎわいプラ座周辺にビラを撒いたりしていった。少しずつ居場所の存在を知ってもらえるようになり「健康の悩みや家族の介護の悩みなどを話して、気持ちがすっきりした」と言ってもらえることも増えてきた。今後もいろいろな人との交流の場にしていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は大阪府河内長野市。活動地域の人口は約97000人。面積109.63km ² 。農業、林業を営む面と大阪市などに働く人のベッドタウンとして発展してきた面を持つ。高齢化により人口減少傾向にある。組合員の人数は約800人。	
TEL 090-2388-8839	メール Kiyi1978rici@gmail.com

演題番号 4-2-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
滋賀	しが健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イケバタ チエコ 池端 治恵子	事務局長	第4分科会

発表テーマ
歴史ある町で、人気の日本史講座始まる

内容（発言要旨）

坂本民主診療所がある大津市坂本はミルフィーユのように歴史が重なるところ。古代朝鮮からの渡来人が先進文化をもたらし、7世紀、短期間ながら都だった大津京に近い。平安初期に最澄が比叡山で天台宗延暦寺を創建。南北朝時代の太平記も登場し、戦国時代信長の焼き討ちに合い、最近では幻と言われた明智光秀の城の石垣が農地から発見され話題になった。こんな町で私たちは、日々歴史を感じながら暮らしている。ある日、高校を退職した先生が「日本史講座を開きませんか」と声をかけてくださり、昨年10月から月1回のペースで講座が始まった。20人定員のところ30人の応募があり、参加者は50～80歳代、ほとんどが女性。先生の話は教科書をもとにしながらも幅広くとても面白い。秋には近くの古墳巡りなどフィールドワークもいいなと話している。この地域にはこんなにも歴史好きの方が多くて、身近に学べる場所が待たれていたのだとつくづく感じた。これも新しい居場所の一つではないだろうか。

所属している組織の概要	
活動地域は、滋賀県大津市西部地域、所属する共同組織の人数は約3000所帯	
TEL 077-577-3020	メール shigatomonokai@gmail.com

演題番号 4-2-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山中央福祉会 中野けんせいえん	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
シゲモト 重本、 ジュンコ 淳子、 ヤスイ 安井、 ナオミ 直美	友の会幹事	第4分科会

発表テーマ
『食べる』でつながるみんなの “わ”

内容（発言要旨）

バス旅行やカラオケまつり等、友の会元気いきがい部が企画運営していた取り組みも、組合員さんの高齢化やコロナ感染症の影響もあり数年来開催できていませんでした。しかしながら、組合員さんの中から「以前のような楽しい活動がしたい」「あの人は元気にしとるんかなあ」「女性が活躍できる活動があれば…」といった声があがり、一定の感染予防意識を持ちながら2023年11月より、友の会元気いきがい部は活動を再開することとなりました。この度はこの様な経過の中で、①元気と生きがいにつながる活動づくりの企画運営を行う②友の会会員同士の交流とつながりづくりを目指す③女性が活躍できる取り組みを考える、この3つの視点にもとづき新たな活動づくりとなった「みんなの食堂」についての発表をさせていただきます。

演題番号 4-2-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	宝塚医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マエダ ユカ 前田 優香	本部事務局 職員	第4分科会

発表テーマ
2023年はチャレンジイヤーに、2024年はさらなる飛躍の年に

内容（発言要旨）

宝塚医療生協ではコロナ禍で活動の制限が長く続いたことにより、事業所と組合員、また職員同士の関係が希薄になっているという声があがっていた。

さらに組合員数の伸び悩みや担い手不足など様々な問題を解決するため、2023年度はチャレンジイヤーに！を合言葉に、様々な挑戦をした。

そのうちのひとつである野菜摂取量を測るベジチェックを導入したことにより、地域の高齢者の孤食問題や、働き盛りのおとなや共働き世帯のこどもの栄養が偏っていることを不安に思っている人が多いということがわかった。この問題を解決するため様々な人が集い食事をする場として、おとな食堂（仮）プロジェクトを立ち上げた。計画から食堂が立ち上がるまでの経緯やその後の課題などを報告する。

所属している組織の概要	
活動地域は人口9万5千人の岡山市東区の南部・西大寺地域。共同組織構成員は約3000人。6つのブロックと84の班、91名の世話人（機関紙の手配り配付）の組織規模。なお、母体法人は19事業所、480名の職員の規模で、地元西大寺地域で最も大きな事業規模を持つ。	
TEL 086-943-1701	メール kenseien@circus.ocn.ne.jp

所属している組織の概要	
活動地域は、兵庫県宝塚市、西宮市、三田市、伊丹市、尼崎市、芦屋市、川西市、猪名川市。活動地域の人口は1,628,576人。所属する共同組織の人数は14,904人。（2023年3月31日時点）	
TEL 0797-69-6121	メール y.maeda@takarazuka-mcoop.net